

## 家計負担増で緊急対策 164億円

6月補正で  
予算可決

うだるような暑さが続いておりませんが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。  
5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、イベント開催や観光地が人でにぎわうなど、日常を取り戻しつつあります。これまでの感染対策とともに、暑さを避けこまめに水分を補給する熱中症予防をお願い致します。

また。国の予算を活用し、今年度の一般会計には物価高騰による家計支援対策など164・1億円を上乗せします。

改選後の県議会で初の本格議論となった第363回定例会が6月、県庁3号館7階の大会議室であり、物価上昇で負担が増す家計への応援策を盛り込んだ6月補正予算など議案11件が上程、いずれも原案通りに可決されました。国の予算を活用し、今年度の一般会計には物価高騰による家計支援対策など164・1億円を上乗せします。

誰かが住み慣れた地域で、いつまでも健康で元気に暮らせるように、「地域共生社会」の実現をめざして、ウィズコロナ時代の兵庫県政をしっかりと前に進めてまいります。



6月定例会で一般質問に登壇しました

国の支援の対象外となるLPガスを利用する家庭に、1契約あたり延べ3700円の料金軽減を県の独自施策として行います。県がLPガス販売事業者に補助金を交付し、8月から10月までの

ガス料金を対象に1カ月あたり約1200円を値引きします。事業費は17億7千万円を計上しました。

減するため、給食を実施する県立の特別支援学校、定時制高を対象に、令和5年度の学校給食費の増額分を補助します。

また、光熱費などの高騰で利用者負担が増加するのを抑えるため、特養や訪問・通所サービス事業所、保育園や認定こども園、放課後児童クラブ、児童養護施設などの社会福祉施設、私立学校に一時支援金を支給することになりました。

## LPガス家庭に独自補助 国の支援対象外に対応



## プレミアム付きデジタル券で家計応援！ 子育て支援枠は最大5000円分付与

すべての県民対象に

一般枠	
対象	すべての県民（子育て世帯含む）
販売単価	1口6250円分が5000円に
申込上限	1人あたり4口

+

子育て応援枠	
対象	18歳以下の子どもがいる世帯
販売単価	1口7500円分が5000円に
申込上限	1世帯あたり2口

物価高騰で苦しむ家計を応援するため、県はスーパーや飲食店ですべての県民が使えるプレミアム付きデジタル券「はばたんPay+（プラス）」を発行します。6月県議会の補正予算で計上し、決定しました。事業費は53億4千万円で、財源はほぼ

国の交付金を充てます。  
1口6250円分の電子マネーを5千円で販売し、1人あたり4口まで購入できるため、5千円分のプレミアムが付与される仕組みです。  
対象店舗は募集中ですが、スーパーやコンビニ、ドラッグストア、書店、家電量販店、飲食店などを想定。スマートフォンのアプリ「はばたんPay+」から同券を購入し、QRコードを読み取って支払うシステムです。9月から来年2月までの約6カ月間、利用できます。  
18歳以下の子どもがいる世帯には、1口7500円分を5千円で販売する「子育て応援枠」を付加。1世帯あたり2口までを上限に、食料品の値上がりで家計がひっ迫する子育て家庭を支援します。

# 消費者応援、生活困窮者支援など

## 一問一答で政策提言！

6月7日から13日間にわたって開かれた第363回定例県議会で、一般質問に登壇しました。デジタル技術を活用した消費者応援や生活困窮者の自立支援など6項目を掲げ、政策提言を織り交ぜながら一問一答で県当局の姿勢を質しました。主な内容を要約で紹介します。

### 生活困窮者自立支援制度 未実施の市町後押しを

**岡** コロナ禍で増加した生活困窮者自立支援制度の利用だが、支援する側の人材不足などから未実施の市町もあるようだ。

**県当局** 直近3年間では、就労準備支援事業は29から35市町、家計改善支援事業は21から30市町、一時生活支援事業は35から37市町へと、任意事業が行われている市町域は着実に増えている。

県は2月、公民が連携し地域で食品配布等の支援体制の構築に取り組む「ひょうごフードサポートネット」を立ち上げた。今回の補正予算を活用しながら、生活困窮者へ食材や弁当を届ける取組も拡充したい。

### 耕作放棄地問題

#### 現状踏まえ対策は

**岡** 私の住む稲美町でも耕作放棄地を目にする機会が増えてきた。現状や課題を踏まえた対策は。

**県当局** 荒廃農地は、全県で977haと年々増加傾向にある。主な原因として、土地利用の悪さや、鳥獣被害などによる耕作の困難さ、就農者の減少に伴う労働力不足が挙げられる。区画が小さかったり不整形であったりするほ場の畦畔の除去、新たに集落営農組織に参加した若手でも作業しやすいスマート農業機械導入の支援を行い、農地と担い手に関する施策を一体的に進め、地域農業の持続的発展を図っていく。

### 天満大池、国岡バイパス

#### 同時完成に努めよ

**岡** 社会基盤整備プログラムに位置付けられた県道宗佐土山線は、天満大池バイパスが2028年度までの後期に完了予定。その先にある国岡バイパスは2024年度から

する決議をしました。

県議会は、今回の行為に対して政府に、国際社会と更なる連携を図りながら、北朝鮮に毅然とした態度で実効ある措置を講じられるよう強く求めました。

## 6月定例議会

### 一般質問に登壇



今定例会から議場が変更になりました

の後期に着手し、完成はその次の時期の予定となっている。地元からは同時完成を望む声が多くある。

**県当局** 天満大池バイパスについては、用地の7割が取得済で、残る用地の取得にも早期に取得できるよう努めている。

国岡バイパスは、ルートは現在、具体の道路構造や交差点形状の設計を進めている。提案のとおり、両バイパスは一体的に整備することで南北幹線道路としての機能を発揮できる。地元稲美町の協力を得ながら、早期の用地買収完了ならびに同時完成できるように努力していく。

### 県特別支援教育推進計画

#### どう策定するのか

**岡** 2023年度までの5年間で県特別支援教育第三次推進計画を策定しており今年度が最終年度。この成果と課題を踏まえ、どう次期特別支援教育推進計画を策定していく予定なのか。

**県当局** 県では共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムを構築するため、「縦横連携」に取り組んできた。

縦の連携では、中・高連携シートによる高校進学に際しての支援情報の切れ目のない引継ぎが、約99%の中学校で行われている。横の連携では、特別支援学校がセンター的機能を発揮し、年間1万件超の相談・支援を行っている。

今後、検討委員会を設置し、第三次計画の評価と検証しながら、障害のある子どもの教育的ニーズに的確に応えることを基本として、推進計画を策定していく。

## 「はばタン Pay +」 事務量の増加を懸念

**岡** 家計応援キャンペーン「はばタン Pay + (プラス)」利用にあたり、参加店舗申込みの殺到や利用者のなりすまし不正、子育て世帯判別の確認作業により、事務量が増加するのでは。

**県当局** 事務量増加への対応として、①アプリの操作性向上で問い合わせ窓口での受電件数減②同一人物による複数回申込を抑止するシステムの導入等で、業務の省人化・迅速化が図れると考える。一定の事務量が生じるが、デジタル技術の活用で、運営事務の効率化と参加店舗、県民の利便性向上の両立を目指す。

## 総務常任委員長に 就任！



県の施策を分野ごとにチェックする県議会常任委員会が、6月から総務常任委員会の委員長に就任しました。元町周辺再整備やデジタル化の推進などについて、調査研究していきます。

## 北朝鮮ミサイル発射で 抗議する決議

6月定例会で、北朝鮮が6月15日に日本の排他的経済水域内に、弾道ミサイルを複数発射したことについて断固抗議

岡つよしに  
ご意見・ご要望を！

岡つよし事務所  
〒675-1112  
兵庫県加古郡稲美町六分一 770-3  
☎ 080-4398-6173  
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com